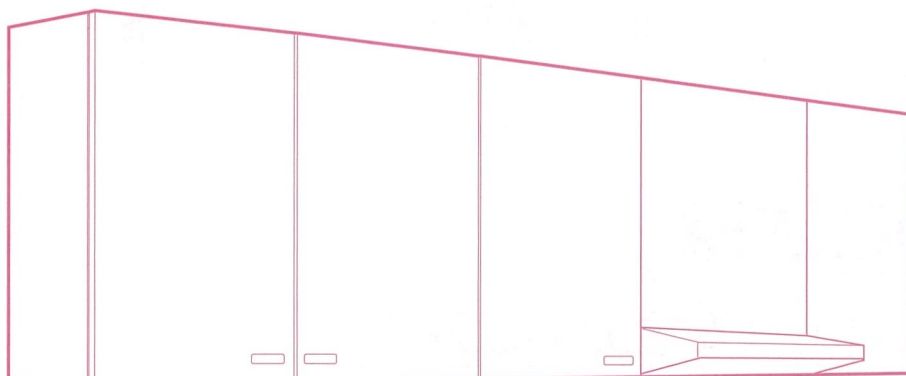


タカラ吊戸棚

取扱説明書 (お客様へ)

設置説明書 (設置される方へ)



もくじ

取扱説明書

ページ

- 1.各部の名称……………1
- 2.使用上のご注意……………1~3
- 3.使用方法……………3~5
- 4.お手入れのしかた……………6
- 5.『故障かな?』と思ったら…6
- 6.アフターサービス……………6

設置説明書

- 1.設置される方へのお願い……7
- 2.設置上のご注意……………7~8
- 3.標準取付け寸法及び取付け位置……9
- 4.設置手順……………9~11
- 5.点検及び仕上げ……………11~14
- 6.お願い事項……………14

お客様へ

このたびは、タカラ吊戸棚をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

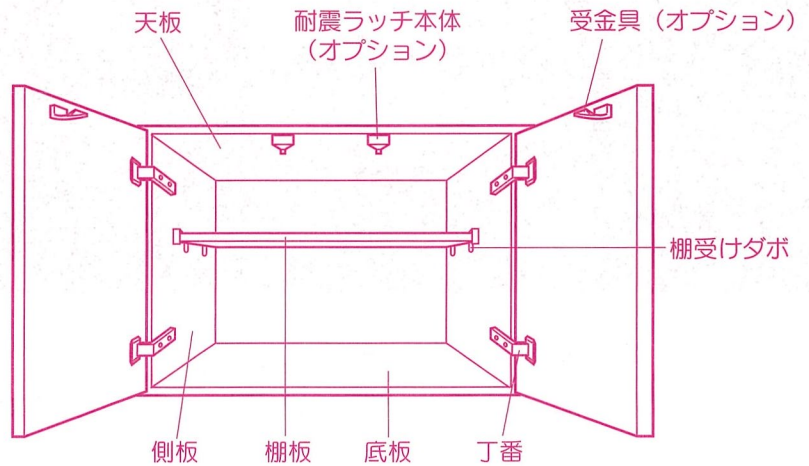
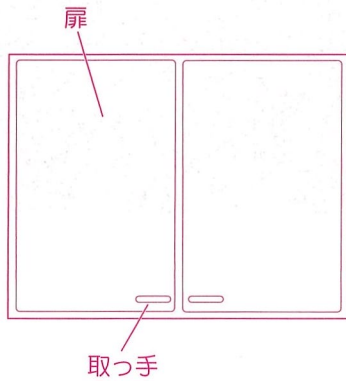
設置される方へ

設置後は、流し台・食器乾燥機・レンジフード等の機器の取扱説明書と共に、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失せぬよう納めておいてください。

タカラスタンダード株式会社

取扱説明書 (お客様へ)

1. 各部の名称



2. 使用上のご注意

必ずお守りください。(安全上のご注意)

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



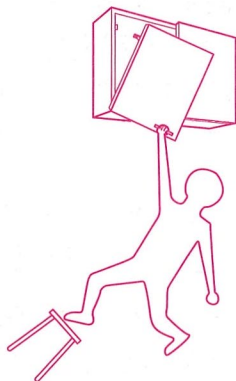
この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

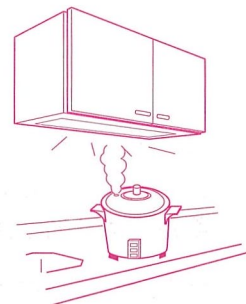
⚠ 注意

- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎないでください。



- 扉や取っ手がはずれて、ケガをするおそれがあります。

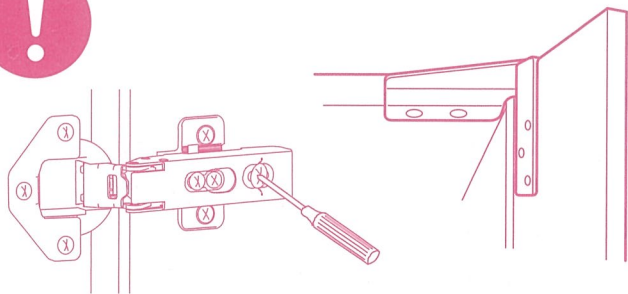
- 照明付き吊戸棚や吊戸棚底面に設置した照明器具の下で炊飯器やコーヒーメーカー等の蒸気を発生する器具の使用は避けてください。



- 照明器具に蒸気が直接に長時間かかり続けると、照明器具の寿命が縮まったり、発火事故につながるおそれがあります。

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締めなおすか、販売店にご連絡ください。

※丁番の直し方：3ページ3(1)をご覧ください。



- 放置しておくと扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

- 部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかに修理を依頼してください。小さな部品の場合も、同様に修理を依頼してください。



- そのまま放置すると思わぬ事故（けがや誤飲）がおこる可能性があります。

- 吊戸棚や水きり棚等に収める収納物は安定した状態で収めてください。



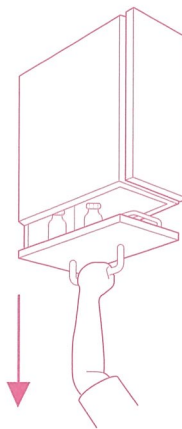
- 収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。

- 昇降式吊戸棚の可動部を過剰な力で引き降ろさないでください。



- 可動部に損傷が発生し収納物が落下するおそれがあります。

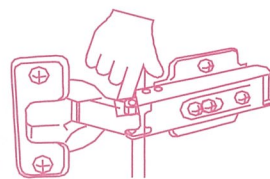
- 昇降式吊戸棚を使用する時は、[カチッ]という音がするまで可動部をひきおろしてから手をはなしてください。



可動棚は自動昇降するものではありません。昇降は必ず手をそえて操作してください。

- キャッチが作動せずに、可動部が急上昇し、収納物に損傷が発生するおそれがあります。

- 開閉時に丁番にさわらないでください。



- 丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

- 棚板の位置を変える場合、棚受けダボは正しい向きできっちり奥まで差し込んでください。

※4ページ3(2)をご覧ください。



- 棚板、食器類が落下し、ケガをするおそれがあります。

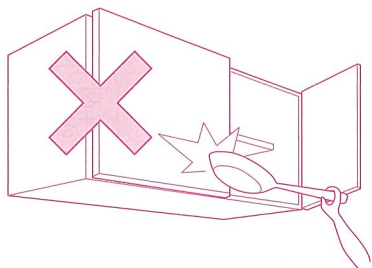
〈耐震ラッチが取り付けられている場合〉



- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっていないか確認してください。
- 収納物が落下してけがをするおそれがあります。

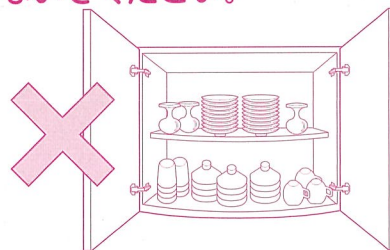
快適にご使用いただくためにお守りください。

- 扉やキャビネットに硬いもの、鋭利なものを当てないでください。



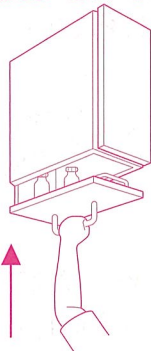
- 傷、カケ等が発生するおそれがあります。

- 棚板や底板に過度に重い物や偏って物を収納しないでください。



- 棚板や底板が変形するおそれがあります。
 (* 間口10cm当たり2kg以内にしてください。
 例：60間口の吊戸棚の棚板(底板)1枚につき12kg以下。

- 昇降式吊戸棚の可動部を本体に収める場合、しっかりと最後まで押し上げてください。



可動棚は自動昇降するものではありません。昇降は必ず手をそえて操作してください。

- 上部キャッチが作動せず、可動部が下がってくるおそれがあります。

- 昇降式吊戸棚は、収納物を2kg以内にしてください。



- 可動部が下がってくるおそれがあります。

3.使用方法

- (1) 丁番の調整方法 * 調整には+ドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領に従って締め直し又は調整を行ってください。

※丁番には(イ)~(へ)の6タイプがあります。

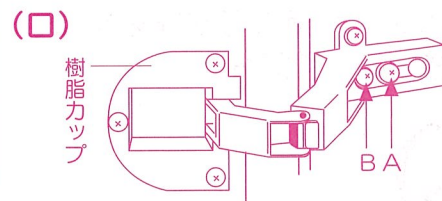
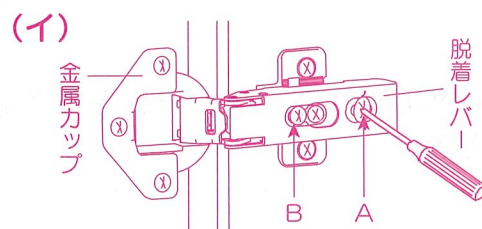
〈スライド丁番の場合〉

- ① 扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかり締め込んでください。

- ② 扉の前後方向の調整方法

Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。



〈SKホロー扉スライド丁番タイプ〉

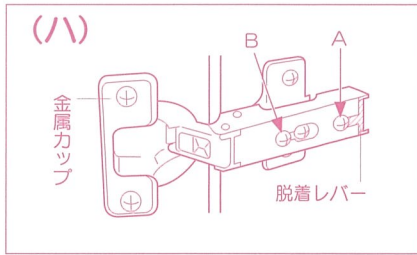
③ 扉の左右方向(段違い)の調整方法

- (イ)(ハ)(ニ)(ホ)の場合

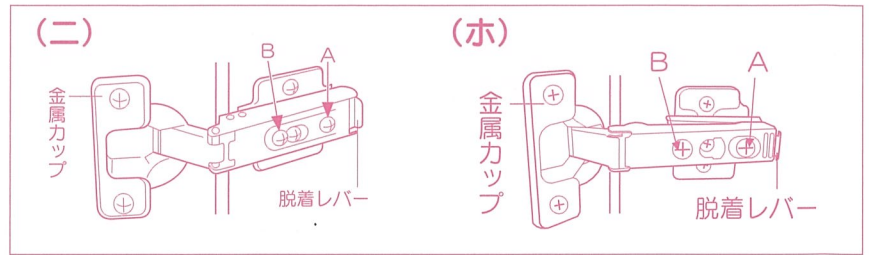
Bのネジの締め込み代で調整してください。

- (ロ)の場合

Aのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整し、再度Aのネジを締め込んでください。



〈SK木製扉スライド丁番タイプ〉



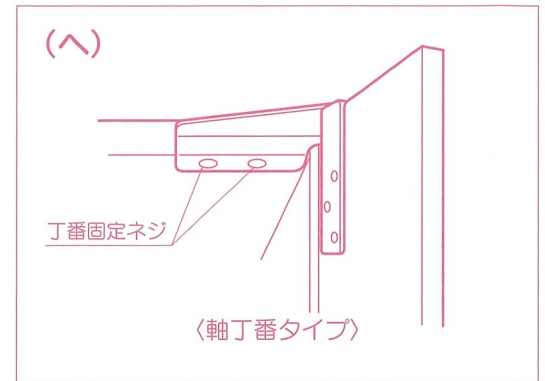
〈単品シリーズスライド丁番タイプ〉

〈への場合〉

扉ガタツキの修正方法

扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかり締め込んでください。

ご注意：(へ)のタイプでもし丁番自体が変形している場合は、販売店にご連絡して、必ず交換してください。



(2) 棚板の位置を変える場合

・棚板のはずし方

前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじめてください。(図1)

・棚受ダボの取り付け方

図2に従って希望の位置にダボをしっかり奥まで差し込んでください。

・棚板の設置の仕方

奥のダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。(図2)

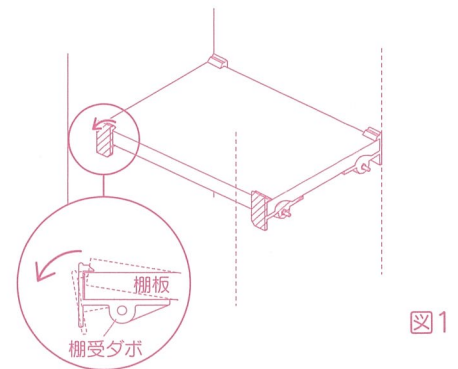


図1

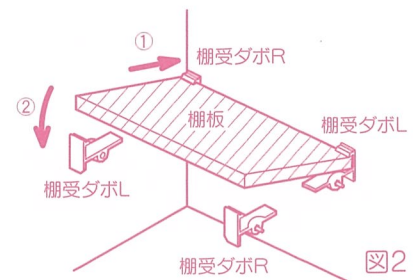
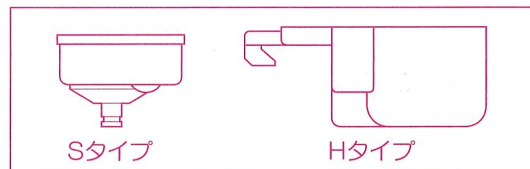


図2

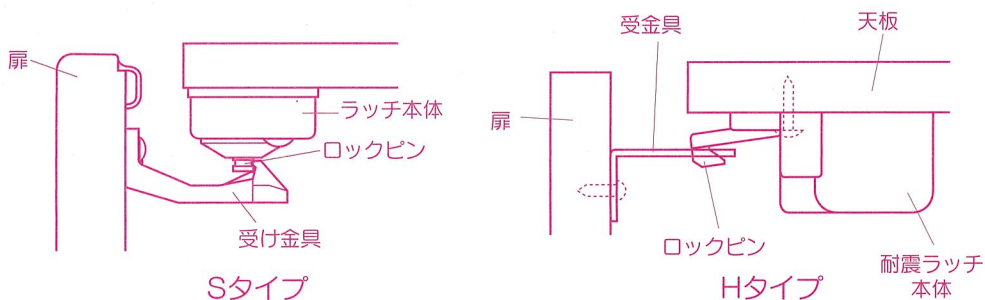
(3) 耐震ラッチが取り付けられている場合

耐震ラッチにはS・Hの2タイプがあります。

- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。(このとき、扉は2～3cm開きます)



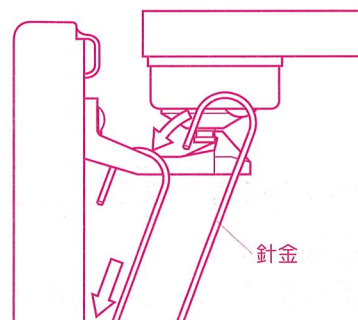
ご注意：耐震ラッチは地質、建物の構造、階数により性能を充分発揮できない場合があります。



- 通常使用（扉の開閉）においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。
- 扉の開閉は、力を入れずやさしくおこなってください。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。

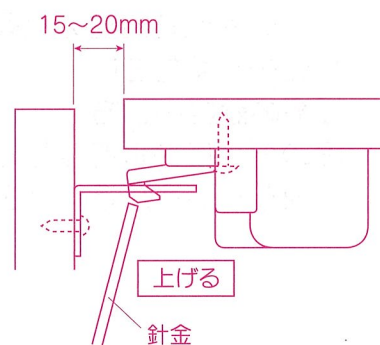
Sタイプは揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

- ①扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具に引っかけてください。
- ②一度扉を閉じてください。
- ③針金を下方に引きながら扉を開けてください。



Hタイプは揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

- ①扉の隙間を15～20mmに保持してください。
- ②扉の隙間より針金等細いものを差し込み、ロックピンを押し上げながら扉を開けてください。



ご注意：強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。

4.お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日常のお手入れが大切です。
なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

キャビネット、扉部その他のお手入れ

●ホーロー製キャビネット、扉の場合

汚れがついた時は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

●木製キャビネット、扉の場合

汚れがついた時は中性洗剤をつけた布でふき取った後、かたくしぼった布で余分な洗剤をふき取ってください。

●プラスチック製部品の場合

汚れがついた時は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



5.「故障かな？」と思ったら

アフターサービスをお申し付けになる前につぎの点をお調べください。

現象	確認事項	処置
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理依頼してください。
照明吊戸棚のランプが点灯しない。	ランプが緩んでいませんか。	ランプを右側へ止まるまで締め込んでください。
	ランプが切れていませんか。	ルーバーを外し、中のランプを交換してください。
	停電していませんか。	復旧するまでお待ちください。
	電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。	電源ヒューズを取り換えてください。ブレーカーをいれてください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

6.アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

 0120-557-910 受付時間 9:00~18:00 (土日祝、夏期・年末年始休業日を除く)

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名
- (2) 機種名 (検査合格証に記載がある場合。)
- (3) 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

設置説明書 (設置される方へ)

1. 設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

設置後は、本説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失せぬようにおさめておいてください。

2. 設置上のご注意

- 設置する壁面のタチ、カネ(垂直、直角)がでていることを確認してから設置作業を行ってください。壁面がゆがんでいたり、扉に段違いが発生したりキャビネット間にスキが発生して、きれいに収まらない場合がありますので、キャビネットと壁面の間に適当なスペーサーを入れて調整してください。(図1参照)

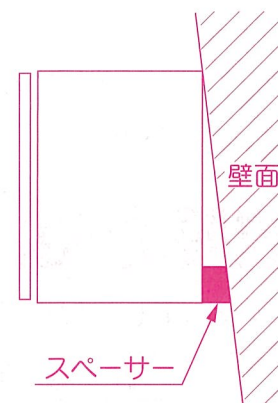


図1

必ずお守りください。(安全上のご注意)

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



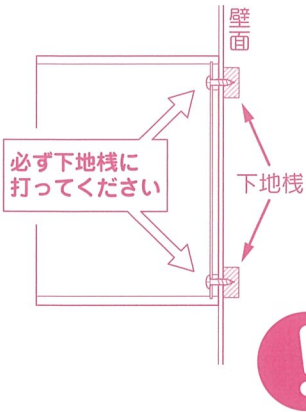
この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客さまにお渡しください。

⚠ 警告



- キャビネット固定ネジを打つ部分には、十分な強度をもつ木質の下地棧があることを確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通り確実に行ってください。

※9ページ [3.標準取付け寸法及び取付棧位置] (図2) をご覧ください。

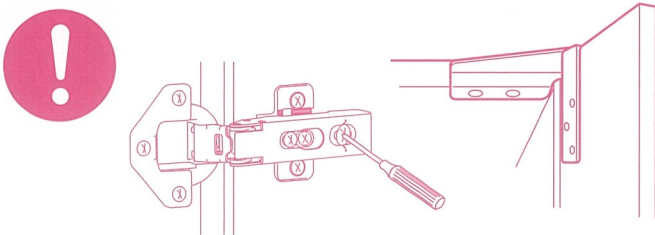
- ネジ打ち部分に下地棧が無かったり下地棧の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが脱落して大事故につながります。

- 電気配線工事・アース工事は、関連する法規・規定にしたがって、必ず電気工事店等の「有資格者」が行ってください。

- 接続や固定が不完全な場合、発煙や火災の原因になります。

⚠ 注意

- 設置完了後、扉の丁番固定ネジがしっかり締まっているかを必ず確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。



- 扉が脱落してケガをするおそれがあります。

- 棚板を設置する場合、棚受けダボを正しい向きできっちりと奥まで差し込んでから棚板を置いてください。

※11ページ4(2)⑥をご覧ください。

- 棚板、食器類が落下し、使用者がケガをする場合があります。

- 取付、仕上げ作業に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類については、容器等に記載の注意表示にしたがって、正しくお使いください。



- 誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

- レンジフード及び吊戸棚に付帯する電気製品については、それぞれの商品の設置説明書を必ずご覧いただき、正しい取付作業を行ってください。

- 取付を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

- 設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

- 設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

- 汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 標準取付け寸法及び取付枠位置

取付用栈木(巾40mm以上)

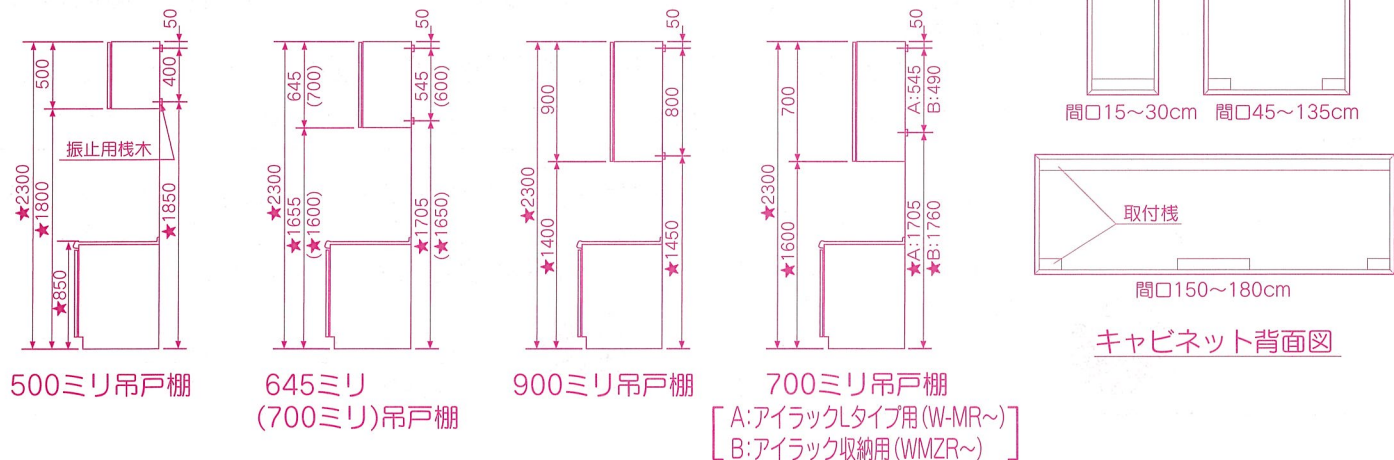


図2

図中に記載している数値はキッチン天板標準高さの850mmの場合の寸法です。数値の左側に★印がある数値は、天板高さの違いによって変わる寸法ですので、右記指示にしたがって設置してください。

ご注意：★印：天板高さに連動して変化する数値
例) ★2300 (天板高さ850mmの場合2300mm)
天板高さ900mmの場合→2300+50=2350mm
天板高さ820mmの場合→2300-30=2270mm
となります。

4. 設置手順

(1) 付属部品の確認

各キャビネットには、下記の付属部品が必要数同梱されていますので、設置前にご確認ください。

付属部品	
壁面固定用トラスネジ	(4.5×60)
キャビネット連結用トラスネジ	(3.5×27)

(2) キャビネットの設置

下記の手順で設置してください。

※「レミュー」については、「レミュー設置マニュアル」を参照してください。

昇降式吊戸棚・冷蔵庫用吊戸棚については、それぞれの吊戸棚に同梱されている専用説明書を参照してください。

- ① 壁面取付用下穴の加工 ⇨ ② キャビネット連結用下穴の加工
- ⇨ ③ レンジフードダクト用穴の加工 ⇨ ④ キャビネットの壁面取付及び連結
- ⇨ ⑤ 棚板の設置

〈① 壁面取付用下穴の加工〉

各機種において、所定の位置に壁面取付用の下穴（φ5穴）を加工してください。（図3参照）

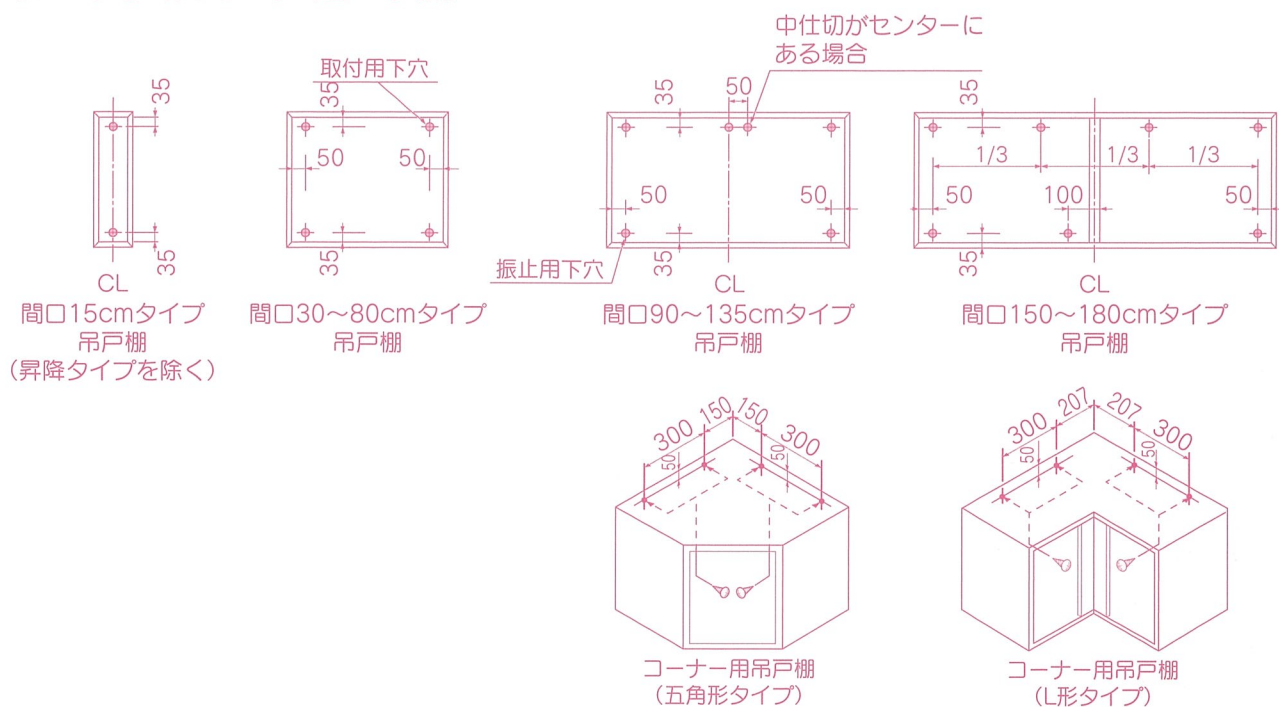


図3

〈② キャビネット連結用下穴の加工〉

連結するキャビネット側板のどちらか一方に連結用下穴（φ4穴）を加工してください。（図4参照）

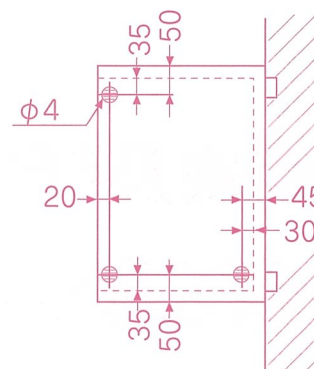


図4 キャビネット側板
連結用下穴位置

〈③ レンジフードダクト用穴の加工〉

レンジフードのダクト穴の加工が必要な場合は、レンジフードに同梱されている設置説明書を参照して加工してください。

〈④ キャビネットの壁面取付及び連結〉

①で加工した壁面取付用下穴より、付属ネジ(トラスネジ4.5×60)で壁面に取り付けてください。

ご注意：1.下地の木質棧にネジバカにならないようしっかり固定されていることを確認してください。

2.不燃吊戸棚を取り付ける場合は、不燃側をレンジフード側に取り付けてください。

3.不燃吊戸棚の下には、吊戸棚の底板との固定が必要な商品は設置できません。

(例)ミドルキャビネット、食器戸棚、システムラック、水切ラック、照明器具、照明カバー、スイッチボックス、吊り下げ式電子レンジ、

キャビネットを連結する場合は、②で加工した連結用下穴より隣接するキャビネット側板に付属ネジ(トラスネジ3.5×27)でスキがでないように連結してください。(図5参照)

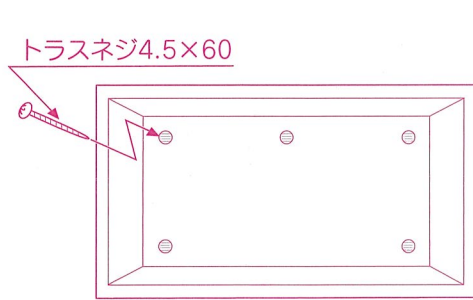
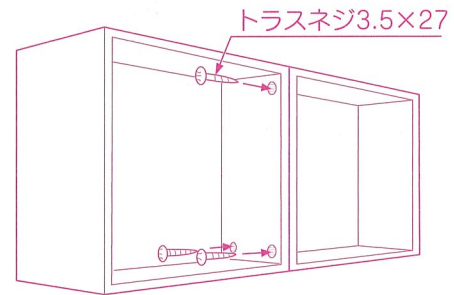


図5



〈⑤ 棚板の設置〉

- ・棚板のはずし方
前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじめてください。(図6)
- ・棚受ダボの取り付け方
図7に従って希望の位置にダボをしっかりと奥まで差し込んでください。
- ・棚板の設置の仕方
奥のダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。(図7)

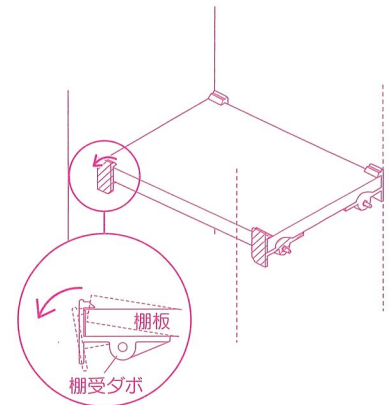


図6

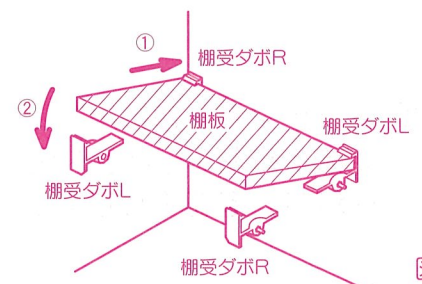


図7

5.点検及び仕上げ

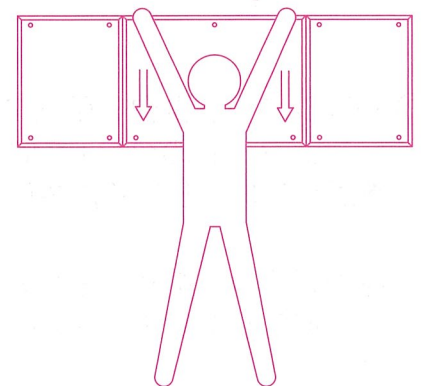
◎安全確保の為、必ず実行をお願いします。

- 壁面へのネジ固定が確実にされているかどうか、下記2点の方法で確認してください。

① 吊戸天板ぶら下がり確認

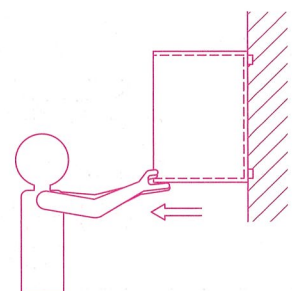
セット間口センター付近の吊戸天板(側板や中仕切のある近辺)にぶら下がり、ネジの抜けやガタツキが無いか確認してください。

ご注意：吊戸の底板にはぶら下がらないでください。
底板が変形するおそれがあります。



② 吊戸底板引っ張り確認

吊戸の底板を引っ張り、ネジの抜けやガタツキが無いか確認してください。



- 扉にガタツキ、段違いがないか確認してください。ある場合は下記の要領に従って調整してください。

〈スライド丁番を使用している製品〉(図8)

①扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかりと締め込んでください。

②扉の前後方向の調整方法

Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。

③扉の左右方向(段違い)の調整方法

(イ)(ハ)(二)(ホ)タイプはBのネジの締め込み代で調整してください。

(ロ)タイプはAのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整して、再度Aのネジを締め込んでください。

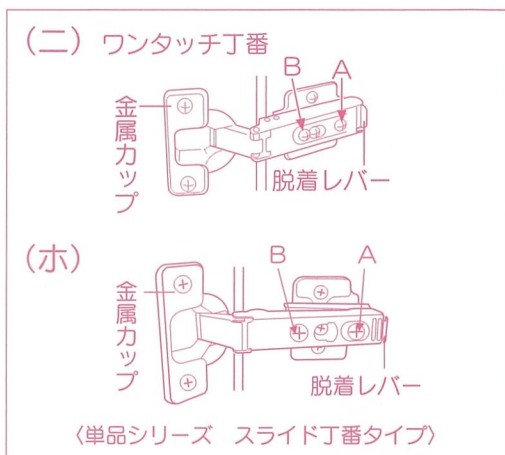
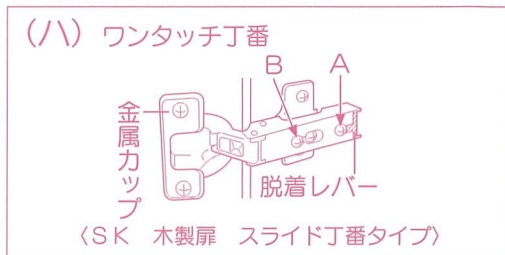
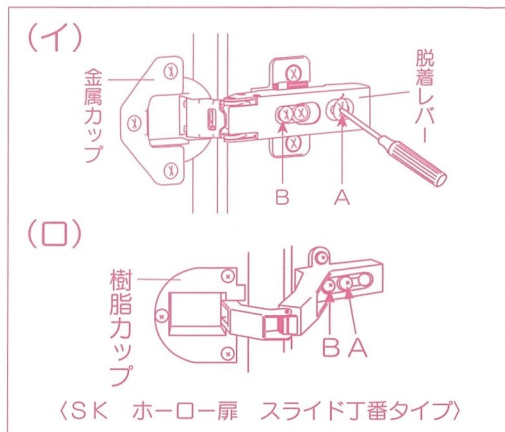


図8

〈ホーロー扉で軸丁番を使用している製品〉(図9)

扉側丁番のAのネジをゆるめると扉の前後、左右の調整ができます。調整後、再度Aのネジを締め込んでください。

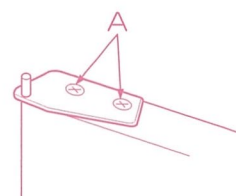
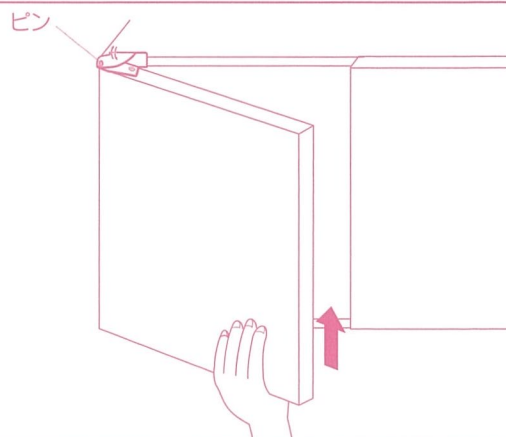


図9

ご注意：扉上部の扉側丁番のピンがキャビネット側丁番にしっかり掛かっていることを確認してください。また扉を上を持ち上げて、ガタツキを確認してください。掛かりが浅い場合もしくはガタツキがある場合はキャビネット側丁番の角度を修正してください。



〈木製扉で軸丁番を使用している製品〉(図10)

キャビネット側丁番のAのネジをゆるめると扉の左右の調整(段違い調整)ができます。調整後、再度Aのネジを締め込んでください。

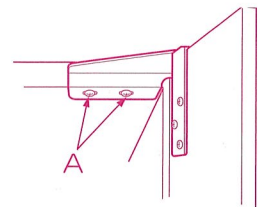


図10

●ワンタッチ丁番付扉の取りはずし方

中央の穴を押さえた状態で、脱着レバーを押しあげてください。(図11)

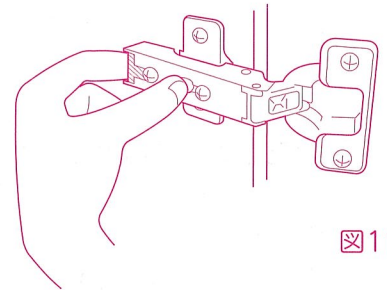


図11

●VRN(高さ630mm)の横にウォールキャビネット(高さ500mm)を設置する場合は、下部に隙間があきますので、必ずシリコン(アイボリー色)でコーキング処理してください。(図12)

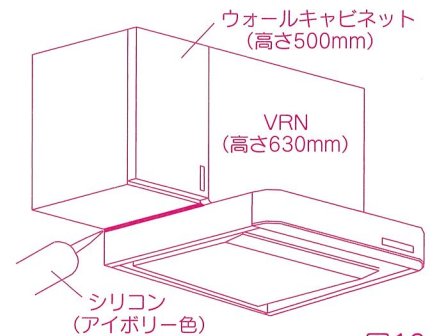


図12

●耐震ラッチ(Sタイプ)が取り付けられている場合、下記の手順で耐震ラッチの調整をおこなってください。



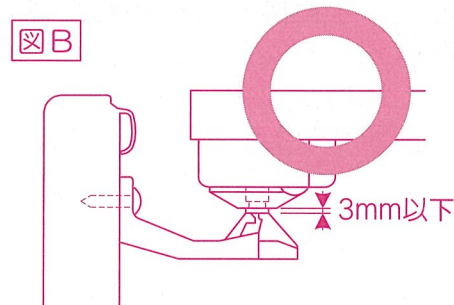
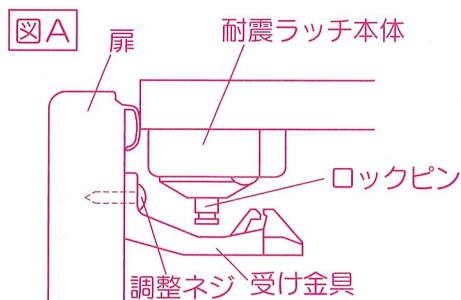
- 設置終了後、必ず下記の手順に従って作業をおこなってください。地震の時作動しなかったり、通常使用時に支障をきたすことがあります。

①耐震ラッチ本体に貼られているテープをはがしてください。

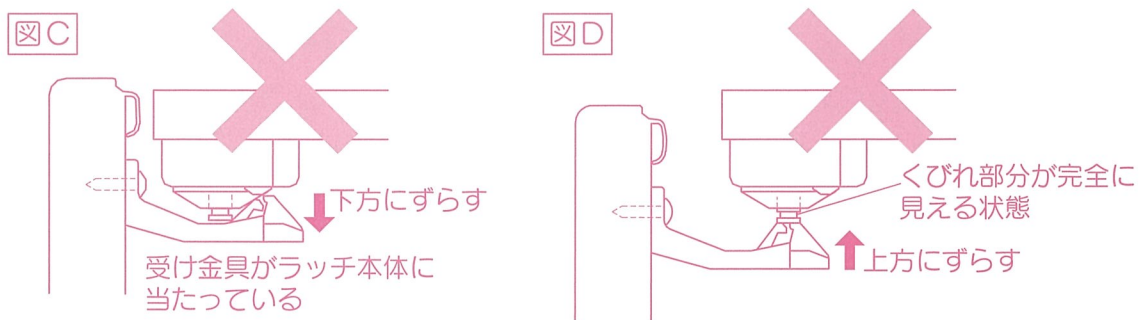
②受け金具が所定の位置にあるか下記要領で確認してください。

〔1〕扉を少しずつ開きながら受け金具がロックピンを押し上げるところまでゆっくりもってゆきます。(図A、図B)

〔2〕図Bのようにロックピンが押し上げられてラッチ本体内に隠れる状態であればOKです。



- [3] しかし、図Cのように受け金具がラッチ本体に当たってしまう場合は、**受け金具を下方にずらす**必要があります。金具の調節ネジをゆるめて図Bの位置になるように調節してください。
- [4] また図Dのようにロックピンのくびれ部分が完全に見える場合は、**受け金具を上方にずらす**必要があります。金具の調節ネジをゆるめて図Bの位置になるように調節してください。



- 設置時に商品が汚れた場合は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6. お願い事項

- 商品の養生
 - すべての作業が完了しましたら、商品を保護養生してください。
- 梱包材その他部材の処理
 - 梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンドード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区嶋野東1丁目2番1号

TEL 06 - 6962 - 1531